

令和4年度 久勝かもめこども園 自己点検・自己評価について

令和5年3月

評価の基準 A・・・よく達成できている B・・・達成できているが課題もある C・・・改善が必要

◎ 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策
教育・保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B	・年齢ごとの保育目標を設定するなかで、日々の保育に具体的に取り組むことができたかを振り返るが、一人一人の関わり工夫が不十分であったように思う。 ・さまざまな保護者の思いがあるため、聞き入れてえられる部分と保育する側として伝えたい部分に、まずは、信頼関係を結び、子育てに対する思いを相談しながら取り組んでいけるようにしていきたい。 ・毎日の連絡事項、園児・保護者のこと・保育全般など見直しの部分は相談し、共通理解の部分は、情報共有しながら進めていきたい。
	(2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	B	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	C	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	C	
教育・保育内容について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	・廃材を使い子どもたちの想像により、物に見立てての遊びの展開がなされていたように思うが、保育者が提案して作ったものが毎日同じようでは変化がないので、展開できるような発想を考えていかなければならない。 ・個人懇談では、日頃ゆっくり話すことができないので子育ての悩みを踏まえ、現状と課題についての見直しを立てていくため、より良い懇談となるような時間を確保していきたい。 ・玩具については、特に乳児クラスで使用している物の大きさ・種類・数・手触りなど危険がないか、又、月齢に適したものであるかを改めて見直した。SIDSチェックについても確実に安全に午睡できるように注意していきたい。 ・保護者との対応については、こども園での一日をどのように過ごしていたかを十分に伝えるようにし、安心感をもってもらえるよう真摯な態度で向き合っているようにしていきたい。
	(2) 認定こども園教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。	B	
	(3) 環境構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	B	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	
	(5) 登園・降園時にこやかに対応しているか。	A	
	(6) 連絡帳・連絡ノート、個人懇談の活用が十分できているか。	B	
	(7) 給食、おやつなどのメニューに偏りはないか。	B	
	(8) 食育計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	B	
	(9) 乳幼児の健康管理を適切に行っているか。	B	
	(10) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	B	
保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	B	・予告なしの避難訓練を計画したなかで、職員・子どもの動きがスムーズで、日頃訓練している成果が見られた。さまざまなパターンを考え対応できるようにしていきたい。 ・手洗いうがい・消毒の徹底と流行し始めた病気へのお知らせ、一人一人の健康状態を細かく把握し、環境衛生に留意しながら対応に努めたい。 ・食育に関する集まりをおこなうなかで、食への関心を高めることができた。
	(2) 避難訓練・安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
	(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B	
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか	A	年齢に応じて作成されている。
	(2) 教育保育週数を確保しているか。	A	
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	・行事のために力を入れて練習に取り組むという保育でなく、日頃の保育の積み重ねから披露できる場として無理のない計画を立てていきたい。 ・行事に向けての計画がスムーズにできず、職員が戸惑うことが多かった。事前に話し合いをしていたが、進め方が不十分であったので分かりやすく共通理解できるようにしていきたい。 ・行事終了後の反省会を大事にし、次年度に繋げていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	B	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	C	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

◎教育・保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	B	<p>・係は、担当の職員だけで進めていくのではなく、計画し、発信をして段取りを考えていく形にしている。その発信により職員が考えや意見を出し合っていけるようにしていきたい。</p> <p>・職員会では、内容が分かりづらかったのか、他の職員への周知ができていない時があったので、次年度の課題として考えていきたい。来年度は、主担任が会に参加し、クラス内での意見をまとめて話し合いを進めていきたい。</p> <p>・職員が明るく働きやすい場づくり心がけたい。</p> <p>・異年齢児の交流として園外保育に出かけたり、遊びの中で交流があったりより多くの機会がもてるようにしてきたので継続させたい。</p> <p>・遊びの面では、小さい子が大きい子に刺激され、意欲が高まっていくように環境を整えていきたい。</p> <p>・月案・週案を見直ししながら反省をもとに、課題と目標を見出していくようにしたい。</p> <p>・クラス経営では、複数担任の場合、それぞれ担任の意見を汲み取り、相談し子どもの状態に沿って同じ方向で保育できるように関わることが大切だと考える。</p>
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	B	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	B	
		(4) 係りや仕事の分担・割り当ては適切か。	C	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	C	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	B	
		(3) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	B	
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B	
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B	
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B	
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	B	
研究・研修	園内研修・研究	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	B	
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	B	
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	B	
	園外研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A	
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A		
	(2) 公文書收受、発送、処理を適正に行っているか。	A		
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A		
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A		
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	B		
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	B		
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切、且つ、効果的に活用しているか。	A		
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	適正に処理している。	

◎地域の中の就学前教育施設に関する評価

項目	内容	評価	改善を要する意見及び改善策	
開かれた認定こども園づくり	施設間交流・連携	(1) 小学校等との年間交流計画は、教育・保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	・小学校との交流活動があまりないが、就学前に向けての5歳児においては、日頃の保育にけじめときまりをもって生活を整えながら意識して過ごせるよう、保育にも工夫が必要となる。 ・支援の必要と思われる子どもについては、関係機関と密に連絡を取りながら、保護者の願いや希望を十分受け入れ、小学校生活がスムーズに始めることができるよう配慮していきたい。
		(2) 小学校等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3) 保育教諭同士が、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B	
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。	C	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動にいかしているか。	B	
	家庭・地域との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	・地域の方との活動により、苗植え・生育・収穫を体験することができた。来年度は、園庭にプランタを増やし、生育を近くで目にして触れたり世話ができるような環境を整えていき、食育活動に繋げていきたい。 ・自然と関わるなかでその変化を感じ、身近な事柄への関心を高めていけるよう配慮していきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭やリズム室、子育て支援室等を開放しているか。	A	・年間通して利用は少なかったが、子育て支援室で講師の先生によるベビーマッサージを開いている。それぞれの保護者が子育ての悩みについて話し合ったり、雑談を交えて交流をもっているようであったので発信を継続していきたい。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことのできるような場の設定を行っているか。	A	
		(3) 地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。	B	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	B	
	情報の発信	(1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	B	・園だよりは、分かりやすく伝わるような内容を工夫していきたい。また、園での子どもたちの様子も伝えていきたい。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部評価	(1) 第三者評価や学校評議会等を導入し、園運営に反映しているか。	B	・民生児童委員さんと昔遊びをして交流ができた。地域の方との交わりができる活動を今後も考えていきたい。
		(2) 地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。	B	